

## 認

我家の庭にレモン実ったのです。苗を植えてから、6年の月日が経ちました。たった一個の実でしたので、黄色く熟す前の緑色を確認することができませんでした。きっと我が家のレモンの木は実を結ばないのだろうとあきらめていましたから嬉しい出会いとなりました。調べてみると、小さな苗から育て、実がなるまでの期間は、3年以上かかるとありました。「桃栗3年柿8年、梅は酸い酸い13年、ゆずの大馬鹿18年」と聞いたことがあります。柑橘類であるゆずが実をつけるまでに18年が事実であるのなら、6年の月日は要するかと察することができます。



清瀬中にも柑橘類の樹木が存在します。私が10年前に清瀬中で勤務していた時に、既にその存在を確認していましたから、長きにわたり、実を提供してくれて来たのでしょう。今年は夏ミカンの当たり年であったようです。

先日、清瀬産の食物を素材とする献立が給食で出されました。清瀬産のはちみつをドレッシングにしてあえた“きよはちさくらだ”。清瀬産のニンジン、大根、コマツナを使った“きよせシチュー”そして、“ニンニンパン”です。このニンニンパンの原料は、そうです、清瀬市が誇るニンジンです“にんじんパウダー”を生地に混ぜ込んでいます。清瀬市で生産されたニンジンのうち、形が不揃い等の理由により出荷できないものを集めてパウダー状にしたものです。食品ロスに貢献!給食に提供するにあたり、名称を募集しました。その結果“ニンニンパン”に決定!さらに令和6年7月8日にお願いした商標登録の申請が、同7年10月29日に確定しました。ニンニンパンが公に認められました!ついに、認認パンとなったのです!



清瀬中産の作物を生産する1組農場では、ダイコンの収穫の時期となりました。生徒が収穫した大根の容姿を観てビックリ。手があって足があって、まるで人間のよう。人間ダイコンです。葉が髪の毛のようにも見えます。根が四股に分かれています。味や品質には問題ありません。一度、人間とってしまうと、「もう人間にしか見えない!」かつて話題に上った人面魚、人面犬のように、模様が人の顔に似ていると気づいてしまうと、顔にしか見えないという経験は誰にでもあるはず。これは“パレイドリア現象”という心理現象の一種なのだそうです。この現象の面白いところは、一度認識してしまったら『ただの模様』と強く自分に言い聞かせても、顔だと認識する以前の心理状態に戻すことが難しい!!また、同じ模様でも人によって受け止め方は異なります。例えば、月のクレーターは日本ではウサギに見えと言いますが、南米ではロバ、インドはワニ、地域によって異なります。



“りくりゅう”こと三浦璃来選手と木原龍一選手がミラノ・コルティナ五輪フィギュアスケートのペアに出場しました。金メダル候補と名高い二人。ショートプログラム(SP)では得意のリフトで呼吸が合わずに失敗。演技が終了した後、土台である木原選手は肩を落としなかなか顔をあげられません。片や三浦選手は気丈であり木原選手の左肩に柔らかく手をそえていました。オリンピックのと同じ模様を見てきたはずなのに認識は異なりました。三浦選手はこの時、既に次に迫るフリースケーティング(FS)の模様を思い描いていたのです。

そして、迎えたFS。圧巻の演技で金メダルを獲得しました。パレイドリア現象ではありませんが、一度肩を落とした木原選手を以前の心理状態に戻すことは容易なことではなかったでしょう。後のインタビューで「(SPの後)全部終わっちゃったな」と思っていたそうです。ならば、なぜ気持ちを立て直せたか?三浦選手曰く「ずっと泣いているんです。いつも引っ張ってくれる木原選手が。今回は私がお姉さんでした。」失敗を責めるのではなく許す。ここまで積み重ねてきたお互いを認める。素敵な関係を構築してきたから、驚異的なスピードで木原選手の心理状態を元に戻すことができたのでしょう。

“オリンピック”という涙と笑顔の模様は、人間にしか見えない。人間にしか見ることができないんです。極限まで鍛え上げたパフォーマンスは、人と人が認め合い、支え合い、許し合うことで磨かれてきました。

それは、

『ただの模様』はなく『人間模様』です。